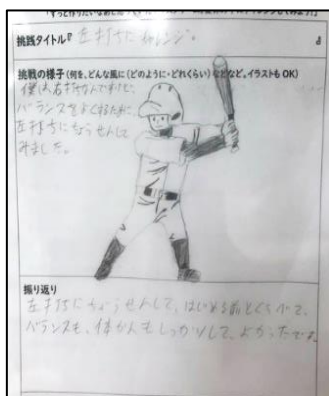


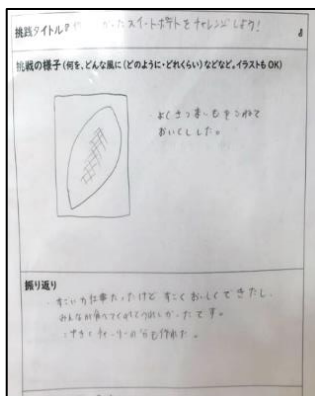
「まずやってみる」の効果と成長

誰でも失敗することは怖いですし、できればそういう不安さえも抱えたくないと思うのは当然のこと。自分ができることはやるけれど、経験したことがないことや失敗する可能性があることは回避したいものです。「危険察知能力」ともいうべき経験値かもしれませんが、けれどもそれを身につけることを「大人になる」とは言いたくありません。「まずやってみる」ということをしないと自分ができるかどうかかわかりませんし、初めから挑戦しなければ、どうすればできるようになるかを考えないようになってしまいます。やってみてダメならやめても路線変更してもいい。「まずはやってみる」ことを常々勧めていきたいと考えています。

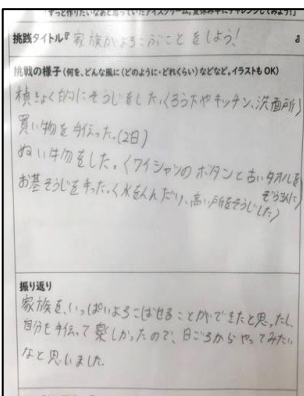
この夏**7年生の9名**は、『**超・挑戦**』と銘打って、“これまでの自分超え”にチャレンジしたようです。とても興味深く、とても愉快なものが多かったので紹介したいと思います。すべてうまくいったわけではないようですが、それでも以前の自分との考え方や行動の変化があったように見受けられます。これこそがこの取組の意義であり、新たに見えるもの、新たに考えることが確実に成長に繋がるはずです。7年生達のように、『超・挑戦』できる何かを探してみる2学期にしていきたいものです。



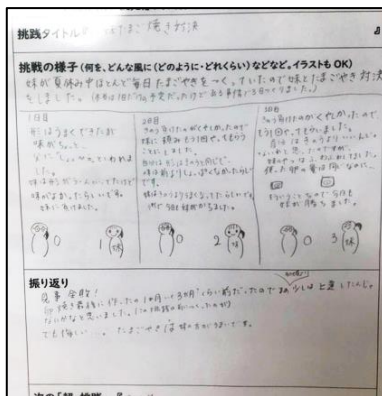
本来の右打ちをレベルアップさせるために、「左打ち」に取り組んだKくん。バランスも体幹も鍛えられました。



ずっと作りたかったスイートポテト作りに挑戦し、家族を喜ばせたMさん。作業の大変さも実感できました。



家族をたくさん喜ばせるために買い物や縫い物、お墓掃除を頑張り、楽しさを実感したHさん。



妹さんと「卵焼き対決3番勝負」をしてお父さんにふるまったMさん。お父さんの審査は厳しかったそうですが、おかげで料理は上達しました。

ほかにも

- ◎ 浮き輪なしで、目標まで泳ぎ切ることができた。来年はもっと泳ぐ！
- ◎ デジタルデトックス（ゲームを減ら）して勉強に集中することができた。
- ◎ スパーン！と打ち込む強打練習を繰り返した。次回は正確性を高めたい！
- ◎ いとこの犬に、自分の手からエサをあげることができるようになって可愛さが増した。
- ◎ 親と一緒に 30 回のレシーブリレーを達成できた。次は 40 回を短い時間で達成する。

などがありました。頑張っている姿が目に見えます。他学年でも「自分超え」を実践してほしいなあと感じています。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。

9 月行事予定

2 (金) 生徒議会

6 (火) 生徒朝会、文化祭ガイダンス

7 (水) ブラッシュアップ授業研 (9 年数学)

8 (木) 新人大会壮行式 心とからだの健康観察

10 (土) 釜石地区新人大会 9年生登校日

13 (火) 全校書写①



令和4年度「わたしの主張」釜石地区大会 最優秀賞受賞

野球少女からの提言 吉里吉里学園9年 木下 望愛



私は、小学一年から9年間野球に打ち込んできました。女子は私一人、男子に交じって練習してきました。野球の魅力は、一球一球に全集中し、9人でカバーし合いながら勝利を目指して頑張るところにあります。

しかし、残念ながら、私たちの野球部は部員がたったの3人でした。ですから、練習内容も限られ、けっして満足のいく部活動ではありませんでした。しかも、練習によるストレスから、イライラして喧嘩してしまうこともあり、本当にこの3人で楽しく練習ができるのか、不安になったこともありました。

そして、一番大変だったことは、大会に出る時自分たちだけではチームが組めないことでした。野球は9人とするものなのに、たった3人ですから、当然大会に参加する場合には他の学校との合同チームということになりました。練習場所には、バスで移動して限られた時間で練習しました。

私は、あんなに大好きだった野球を苦しく思うようになりました。練習メニューがどんなに辛くても頑張れましたが、このような環境の中での練習では、楽しさより、やり切れない思いの方が強くなってしまったのです。小学一年から夢中になって取り組んできた野球なのに、人数が少ないという理由だけで楽しめないのは、あまりにも理不尽な気がしてなりませんでした。

しかし、私はある新聞の記事で、このような状況の中で部活動に取り組んでいる生徒が、他にもたくさんいることを知りました。

それは、「小中学生10年で100万人減」という記事を目にした時でした。それを読んで、岩手県は、全国で4番目の減少率であることを知りました。私の住む大槌町も小中学校が7校から3校に減っていました。

こういった現状からも、全国的に生徒数が減り、部活動が満足のいくものにはならなくなってきていることが、はっきりと分かりました。部員数が足らずに、廃部にまで追い込まれたり、合同チームという形をとらざるをえなかったり・・・。

近年、好きなスポーツができなくなってしまっている生徒たちが、たくさんいることを私は知りました。だから、今私は、大好きな野球を9年間続けて来られたことを、前向きに考えてみようと思ったのです。

たった3人で、満足できる練習ではなかったにしても、冬のトレーニングで、3人で声をかけ合い、何度もダッシュで駆け上がった坂道や、試合で負けても励まし合ったバスの中や・・・。

いい思い出だったたくさんあったことに気がつきました。今までの9年間いろいろなことがありましたが、私が野球をやめなかったのは、それだけ野球が好きだったし、そばにはいつも応援してくれた親や先生、私と同じように野球が好きな仲間たちがいたからでした。

私は、スポーツは音楽に似ていると最近思っています。音楽も、大勢で歌う合唱もあれば、一人で歌うソロもあります。どちらも音楽であることに変わりはありません。どちらも、それぞれに楽しみ方があるのです。スポーツもそうです。人数が少なくても、考え方一つで、工夫一つで、楽しいものになるのです。不満を抱くよりも、そこに価値を見出し、ベストを尽くせば、きっと明るい道が拓けるはずだと、私は考えるようになりました。

これから生徒の人数がますます少なくなり、私たち3人のような状況で練習をしなければならない人たちが増えていくと思います。でも、スポーツを楽しむ、苦しくても全力で挑戦する気持ちをもって、自分が好きなスポーツに、これからも取り組んでいってほしいと思うのです。

講評では、「身近なことと社会的なテーマのバランスが良かった」、「自己の内面をよく見つめて、一般論と自分の意見をバランス良く述べていたところが素晴らしかった」、「スポーツを音楽に例えて表現したところも良かった」、「スポーツのみにとらわれず、これからの生き方につながる考え方を示してくれた」など、大変な好評をいただきました。明るくて、優しく、仲間思いの望愛さんらしさが発揮できたと思います。

わたしの主張県大会は9月14日(水)に盛岡市にて開催されます。釜石地区の代表として、さらに素敵な発表を期待したいと思います。

14(水) 全校朝会(報告会)
わたしの主張県大会(9年望愛さん)
16(金) 全校書写② 学校運営協議会
17(土) PTA 親子環境整備作業
19(月) 敬老の日
20(火) 郷土芸能講話

21(水) 2学期中間テスト(～22)
23(金) 秋分の日 吉里吉里花火大会
27(火)～29(木) 9年修学旅行
28(水) 7・8年学習旅行
30(金) 振替休日(9/10の分)
残暑お見舞い申し上げます。どうかご自愛ください。